

詞

作詞 : fuzzimari
作曲 : fuzzimari

すっぽかされて 一人で歩く
アイスを食べ ぶつぶつ呟きながら

アイツなんか 許さない絶対
もう本当にいかりが 込み上げてきた

年上の方は 初めてじゃないけど
年下の方は 生まれて初めて

携帯かけても繋がらないし
たぶん…きっと寝てると思う
昨日は友達と夜更しみたい
たぶん…その事で起きれないと思う

許してあげて いいんだけど
またやるよね 忘れた頃に…たぶん

今回の事は大目にみてもいいけど
埋め合わせは してもらうから

年上の方は 初めてじゃないけど
年下の方は 生まれて初めて

時間どおりに来た事ないし
デートのお金は割り勘ばかり
口を開けば生意気ばかり
でもね優しい・と・こ・が・好き
優しい・と・こ・が・好き

年 下

つぶやき…

この曲、今思うと、学生時代や若い頃に「こういう感じで年上の人と付き合い
いたかった」って事じゃないだろうかって思えてきた。自分自身…
たぶん…きっと…そう。間違いない！ こういうのに憧れてた自分なん
だわ。それがこのような形となって現れたんだな～きっと！
年上…甘えられる…怒っても許してくれる…キレイ(かわいい)…きっと
そうだわ！
意識して創った訳じゃないんだけどね、今こうして思うと、そうなんだろうな
きっと。
歌詞も自分としては、結構すらすら書けてたしな一。間違いないわ。
年上は一人いたな～3つ上？4つ上？…まあいいか、その話しは。

なんか不思議だわ、そういう内面的なっていうか、内に秘めてるものが知ら
ず知らずに出てくるんだね一時には。
ああいう曲、こういう曲って意識して創った事はよくあるんだけど、こういう感
じのものも良いかもね。

そういや一高校の時、「年上の彼女が欲しい」って結構言ってたもんな、僕
も含めて多くの連れ等が…言ってた言ってた、思い出した！

年上か一…